

令和4年校長年頭挨拶

皆様 新年明けましておめでとうございます。年末年始は、ゆっくり心と体を休め、リフレッシュすることができましたでしょうか？ 私は、年末年始を石川で過ごし、娘夫婦に孫二人と一緒に新しい一年を賑やかに迎えることができました。

本日より、2022年 令和4年の仕事始めです。今年の干支「壬寅（みずのえとら）」は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年と言われています。本校にとってこの2年間のコロナ禍という厳しい環境から新たに出発を期すのにふさわしい年と言えそうです。

皆様と一緒に、石川高専をより素晴らしいものにしていきたいと考えていますので、本年もよろしくお願いたします。

昨年は、北陸地区高専体育大会男女総合15連覇達成、全国高専体育大会でソフトテニス男子が団体初優勝、野球が準優勝、陸上女子が団体準優勝、全国高専ロボコンでアイデア倒れ賞授賞、全国高専デザコンで創造デザイン部門・優秀賞受賞など、皆様のお陰で課外活動においても素晴らしい成果を挙げることができました。

教育面では、社会ニーズの高い情報セキュリティ人材育成事業を平成28年度から6年間、第三ブロックの拠点校として推進し、成果をあげています。さらに、石川高専の教育プログラムが令和3年6月30日に数理・データサイエンス・AI教育プログラムとして石川県の高等教育機関で初めて認定されました。これらの事業担当の教職員に対し感謝申し上げます。

研究面では、昨年度の科研費総採択件数37件(教員35件、技術職員2件)で、全国トップクラスを維持しています。本年度は主な科研費の採択結果は2月に判明しますが、新規に多数採択され、総採択件数が全国1位になることを願っています。

施設面では、施設WGが中心になり一昨年念願のキャンパスマスタープランを作成できたことで、昨年度の法面改修工事の補正予算に続き、今年度は共通教室棟等改修工事に対し補正予算がつきました。これらの改修工事計画書作成にご尽力頂いた施設係並びに担当教職員に感謝申し上げますと共に、これらの工事完了に向けて、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

学生募集・志願者対策におきましても平成29年から4年間入試倍率は1.9倍～2.2倍と、全国トップクラスの倍率となっています。昨年度はコロナ禍で中学校訪問等ができず、入試倍率が1.7倍と大きく減少しました。今年度は、夏休みの体験入学や11月のオープンカレッジを対面で開催することができました。これらの入試広報活動の成果として令和4年度の入試倍率が大きく増加し、多くの優秀な学生が入学してくれることを願っています。昨日から始まった入試受付、これからの試験・採点等の入試業務は、コロナ禍の影響もあり大変ですが、ミス等無いようによろしくお願いたします。

また、学年末を控え、学生指導においては一層重要な時期となってきました。学生や保護者との連絡を密にし、各学科の教職員や学生相談室等と力を合わせて、学生に対するきめ細かい指導を実施するよう、宜しくお願いたします。

昨年の学生のさまざまな活躍、情報セキュリティ人材育成事業、研究活動に関する成果、志願者対策、コロナ禍対策等、いずれも教職員が連携しての努力のお陰と改めて感謝申し上げますと共に、更にご協力をお願いします。

令和4年も、グローバルに活躍できる創造力と実践力をもつ人間性豊かな技術者育成に、教育後援会や同窓会・地域企業等と連携しながら、教職員一丸となって全力を注いでいきたいと思います。

最後になりますが、学内外の多くの方々のご理解、ご支援をお願いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。